

福島第一原子力発電所 3号機燃料取出作業 共用プールにおける収納缶の引っ掛かりについて

< 参 考 資 料 >
2020年2月17日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 2020年2月15日、11基目となる共用プールでのキャスク（輸送容器）からの燃料取り出しにおいて、1体の燃料集合体について、燃料を吊り上げると収納缶 も一緒に吊り上がり、収納缶から外れない状況が発生しました。収納缶をポールで押さえる等を試みましたが、収納缶は外れておりません。 ハンドル曲がり燃料等を共用プールで取り扱うためにキャスクにセットしているもの
- なお、ほかの6体の燃料は、同日中にプール内ラックへの取り出しを完了しています。
- キャスクの輸送時に、チャンネルボックス（CB）の外表面と収納缶内表面間にガレキが挟まることにより抵抗が増加したことが原因と推定しています。
- 燃料は水中にある構内輸送容器に装填していること、構内輸送容器は転倒防止台座に固定していることから外部への影響はありません。
- 共用プールに収納缶ごと保管する状況は予め想定していたものであり、今後、手順に基づき収納缶用の治具で吊り上げて専用ラックに収納する予定です。
- なお、2月16日、午前8時分2分頃から輸送容器12回目となる燃料取出作業（使用済燃料プールでのキャスクへの燃料装填作業）を開始し、午後2時3分に7体目の装填作業を完了しています。

